

# 総 説

## 1. 職員現員数

63 6 1 現在

区 分	総 務 課	漁場開発科	海洋資源科	境 港 分 場	試 験 船	
					第 1 鳥取丸	第 2 鳥取丸
場 長	1					
次 長	1					
専 門 研 究 員				1		
科 ・ 分 場 長		1	(1)	(1)		
主 任 ・ 主 事	1					
専 門 技 術 員				1		
研 究 員		1	1	2		
水 産 技 師			1			
運 転 士 (自 動 車 整 備 士)	1					
船 舶 乗 組 職 員					12	4
計	4	2	2	4	12	4

( )は兼務又は事務取扱

## 2. 事務分掌

63 6 1 現在

	職 名	氏 名	分 掌 ・ 事 務
	場 長	大 谷 丈 夫	場の総括
	次 長	香 河 和 孝	課の総括
	専 門 研 究 員	俵 正 夫	分場の総括
総 務 課	課 長 (兼)	香 河 和 孝	人事・予算・庶務
	主 任	山 本 恵 美 子	給与・文書・経理
	主 任 自 動 車 整 備 士	博 田 則 義	公用車の運転・管理
漁 場 開 発 科	科 長	西 田 輝 己	科の総括・水質調査・砂浜漁場資源調査 栽培資源調査
	研 究 員	山 田 英 明	沿岸漁場造成・海洋牧場開発調査
海 洋 資 源 科	科 長 (事)	大 谷 丈 夫	科の総括・資源評価と管理技術開発
	研 究 員	福 井 利 憲	トビウオ資源開発調査・内水面増殖
	水 産 技 師	平 野 誠 師	魚礁効果調査

	職 名	氏 名	分 掌 ・ 事 務
境 港 分 場	分 場 長(兼)	俵 正 夫	分場の総括・新漁場開発
	専 門 技 術 員	永 井 浩 爾	水産業改良普及活動の指導・水産物鮮度保持試験
	研 究 員	増 田 紳 哉	沖合漁海況・200カイリ水域内資源調査・ズワイガニ効果追跡調査
	”	倉 長 亮 二	新漁場開発・浮魚漁場調査・ハタハタ資源調査・底魚漁場調査
第 1 鳥 取 丸	船 長	吉 岡 明 信	第1鳥取丸の運航・維持管理
	機 関 長	浜 田 和 夫	” 機関管理
	主 任 航 海 士	小 谷 弘 文	” 漁労機器等の維持管理
	”	川 西 恒 信	” 乗 組
	”	宇 野 巍	” ”
	”	吉 沢 盛 夫	” ”
	船 員	岩 崎 光 真	” ”
	”	井 筒 敏 彦	” ”
	主 任 機 関 士	宮 脇 富 士 男	” ”
	機 関 士	古 田 栄	” ”
	主 任 通 信 士	松 本 仁	” 無線機器等の維持管理
	通 信 士	生 田 繁 行	” 乗 組
	第 2 鳥 取 丸	船 長	早 野 一 成
機 関 長		大 西 宏 好	” 機関管理
主 任 航 海 士		沢 富 一	” 無線機器等の維持管理
”		山 下 秀 実	” 漁具等の維持管理

### 3. 事業別予算（昭和63年度当初）

事業名	予算額（千円）	摘要
水産試験場費	79,347	
管理運営費	6,944	
一般管理費	6,944	単 県
試験研究費	38,930	
資源生態調査費	11,321	
200カイリ水域内漁業資源調査費	2,687	国 委 $\frac{10}{10}$
海洋牧場開発調査費	3,830	国 委 $\frac{10}{10}$
トビウオ資源開発利用試験費	4,000	国 補 $\frac{1}{2}$
砂浜漁場資源調査費	804	単 県
漁場環境調査費	3,981	
沖合漁海況調査費	3,474	国 補 $\frac{1}{2}$
沿岸漁海況調査費	507	単 県
漁場開発試験調査費	20,995	
浮魚漁場調査費	9,525	単県、財産収入
底魚漁場調査費	5,232	単県、財産収入、国委 $\frac{10}{10}$
沿岸漁場造成技術開発試験費	681	単県
新漁場開発試験調査費	5,557	単県、財産収入
増養殖技術開発試験費	2,185	
増養殖指導費	363	単県
ズワイガニ放流効果追跡試験費	1,822	単県
漁獲物鮮度保持試験費	448	
漁獲物鮮度保持試験費	448	単県
船舶維持費	33,473	
第1鳥取丸維持管理費	10,506	単県
" 定期検査費	19,591	単県
第2鳥取丸維持管理費	1,398	単県
" 中間検査費	1,978	単県